

## サポート情報

「ゼロからわかる 栄養系微生物学（第1版 第1刷）」  
 一部内容について、最新の情報に基づき以下の通り補足・訂正いたします。

| 頁   | 該当箇所 | 誤  | 正   |
|-----|------|--|---|
| 40  | 図2   | 図差し替え  | <p><b>図2 病因物質別事件数・患者数の推移</b><br/> <small>[資料 厚生労働省：食中毒統計調査]</small></p> |
| 153 | 10行目 | 2018年3月時点で、トウモロコシ、ナタネ、大豆、ワタ、アルファルファ、テンサイ、ジャカイモ、パパイヤの8品目で | 2022年3月時点で、トウモロコシ、ナタネ、大豆、ワタ、アルファルファ、テンサイ、ジャカイモ、パパイヤ、カラシナの9品目で           |

154 図9 図差し替え

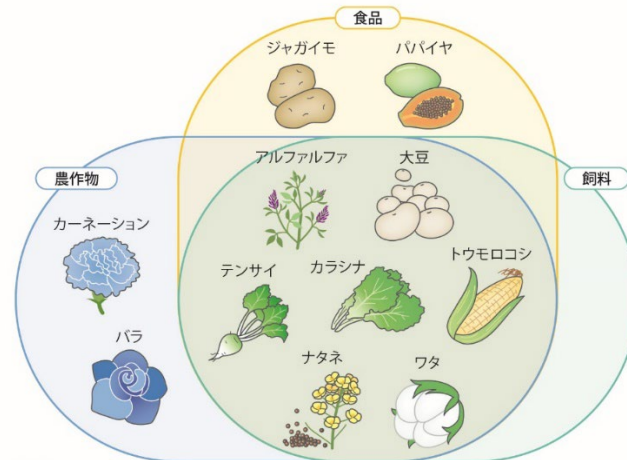


図9 日本で認可されている遺伝子組換え食品・農作物

154 表2 表差し替え

表2 遺伝子組換え食品の表示

| 食品  | 表示   |
|---|--|
| 遺伝子組換え農産物またはそれを利用した加工食品                                     | (表示義務) 遺伝子組換え農産物である旨を表示  |
| 遺伝子組換えかどうか区別していない農産物<br>またはそれを利用した加工食品                      | (表示義務) 遺伝子組換え農産物と非遺伝子組換え農産物が分別されていない旨を表示                               |
| 明確に遺伝子組換えでない農産物であるが、意図しない遺伝子組換え農作物が5%を超えて含まれるまたはそれを利用した加工食品 |  |
| 明確に遺伝子組換えでない農産物であるが、意図しない遺伝子組換え農作物が5%以下で含まれるまたはそれを利用した加工食品  | 大豆・トウモロコシ以外の農作物<br>(表示義務) 遺伝子組換え農産物と非遺伝子組換え農産物が分別されていない旨を表示            |
|   | 大豆・トウモロコシ<br>(任意表示) 適切に分別生産流通管理された旨の表示が可能。「遺伝子組換えでない」「非遺伝子組換え」などの表示は不可 |
| 明確に遺伝子組換えでない農産物で、遺伝子組換え農作物の混入が認められないもの、またはそれを利用した加工食品       | (任意表示) 「遺伝子組換えでない」「非遺伝子組換え」などの表示が可能                                    |
| 遺伝子組み換えトウモロコシ、大豆、なたね、ワタを利用した食用油                             | 遺伝子組換え農産物である表示の義務なし<br>(任意表示) 高オレイン酸含有大豆を使用した旨                         |

付表 1

付表差し替え

**付表1 感染症法における感染症の分類**

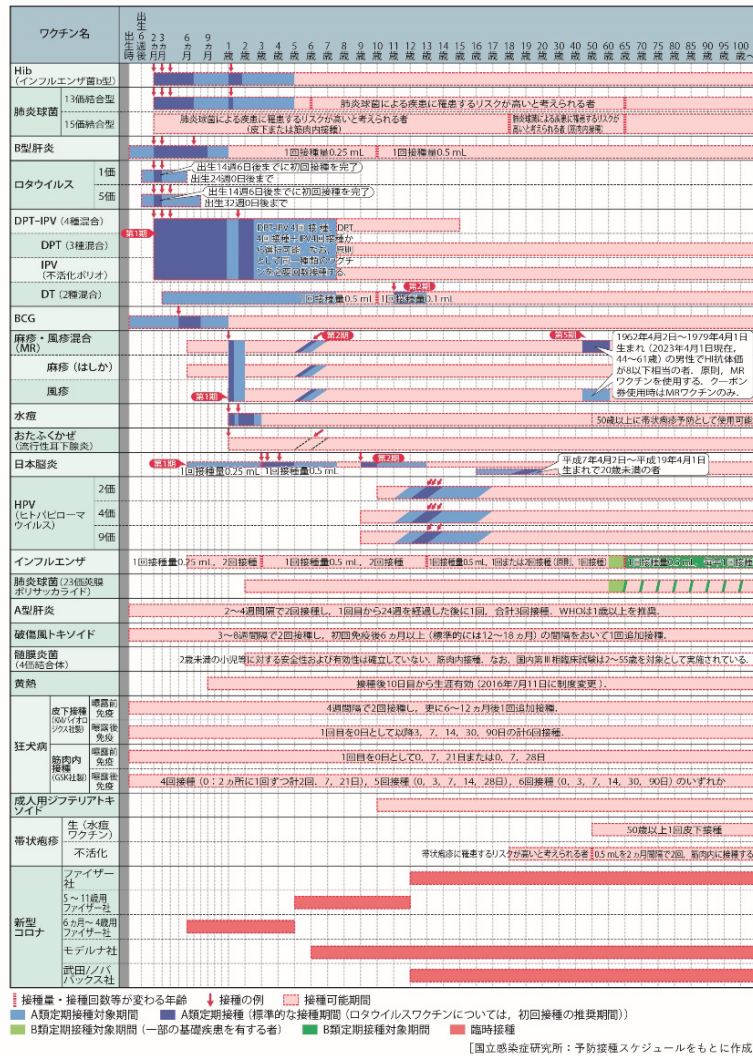
(2023年11月1日)

| 感染症類型         |        | 対象疾患  |
|---------------|--------|---|
| 1類感染症         |        | エボラ出血熱, クリミア・コンゴ出血熱, 痘瘡, 南米出血熱, ベスト, マールブルグ病, ラッサ熱  |
| 2類感染症         |        | 急性灰白髄炎, 結核, ジフテリア, 重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る), 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る), 鳥インフルエンザ(H5N1, H7N9)  |
| 3類感染症         |        | コレラ, 細菌性赤痢, 腸管出血性大腸菌感染症, 腸チフス, パラチフス  |
| 4類感染症         |        | E型肝炎, ウエストナイル熱, A型肝炎, エキノコックス症, 黄熱, エムボックス, オウム病, オムスク出血熱, 回帰熱, キャサナル森林病, Q熱, 狂犬病, コクシジオイデス症, ジカウイルス感染症, 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る), 腎症候性出血熱, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 炭疽, チクングニア熱, つつが虫病, デング熱, 東部ウマ脳炎, 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1およびH7N9)を除く), ニバウイルス感染症, 日本紅斑熱, 日本脳炎, ハンタウイルス肺症候群, Bウイルス病, 鼻疽, プルセラ症, ベネズエラウマ脳炎, ヘンドラウイルス感染症, 発疹チフス, ボツリヌス症, マラリア, 野兔病, ライム病, リッサウイルス感染症, リフトバレー熱, 類鼻疽, レジオネラ症, レプトスピラ症, ロッキー山紅斑熱                                       |
| 5類感染症         | 全数報告対象 | アメーバ赤痢, ウイルス性肝炎(E型肝炎およびA型肝炎を除く), カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症, 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く), 急性脳炎(ウエストナイル脳炎, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 東部ウマ脳炎, 日本脳炎, ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く), クリプトスポリジウム症, クロイツフェルト・ヤコブ病, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症, 後天性免疫不全症候群, ジアルジア症, 侵襲性インフルエンザ菌感染症, 侵襲性髄膜炎菌感染症, 侵襲性肺炎球菌感染症, 水痘(入院例に限る), 先天性風疹症候群, 梅毒, 播種性クリプトコックス症, 破傷風, バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症, バンコマイシン耐性腸球菌感染症, 百日咳, 風疹, 麻疹, 薬剤耐性アシネトバクター感染症   |
|               | 定点報告対象 | RSウイルス感染症, 咽頭結膜熱, A群溶血性レンサ球菌咽頭炎, 感染性胃腸炎, 水痘, 手足口病, 伝染性紅斑, 突発性発疹, ヘルパンギーナ, 流行性耳下腺炎, インフルエンザ(鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く), 新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して, 人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る), 急性出血性結膜炎, 流行性角結膜炎, 性器クラミジア感染症, 性器ヘルペスウイルス感染症, 尖圭コンジローマ, 淋菌感染症, 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る), クラミジア肺炎(オウム病を除く), 細菌性髄膜炎(髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く), マイコプラズマ肺炎, 無菌性髄膜炎, ペニシリン耐性肺炎球菌感染症, メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症, 薬剤耐性緑膿菌感染症 |
| 指定感染症         |        | 該当なし  |
| 新型インフルエンザ等感染症 |        | 該当なし  |

付表 2

付表差し替え

付表2 日本の定期/臨時/任意予防接種スケジュール (全年齢) (2023年10月1日現在)



2024年3月15日

株式会社南江堂